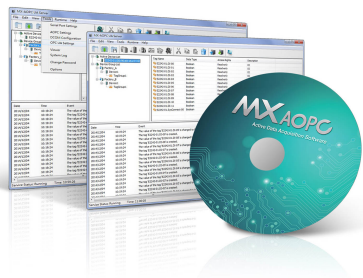


MX-AOPC UAスイート

デバイス、データベース、SCADAの間のまとまりのある、安全で信頼できる接続

機能とメリット

- OTとITシステムの間の安全なデータ接続の作成
- プッシュタイプ伝送による効率的なデータ取得（インターバルあるいは例外メソッドのレポート）
- ネットワーク障害後の、SDカードからの自動データ更新
- オンデマンドおよびオンスケジュールのデータサブリメントを補完する自動データサブリメント

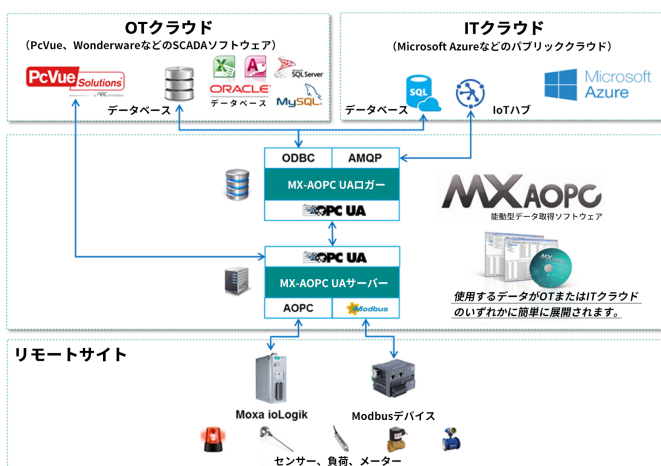


製品紹介

MX-AOPC UAスイートにはMX-AOPC UAサーバー、ビューア、ロガーが含まれており、これらはすべてOPC UA（Unified Architecture）規格に基づいています。OPC UAは次世代のOPC規格（IEC 62541）であり、これによって、リアルタイムデータおよび履歴データにアクセスするためのまとまりのある、安全で信頼できるフレームワークが提供されます。MX-AOPC UAサーバーはMoxaの特許取得済みのアクティブモニタリング技術を継承しているだけでなく、データのポーリングのためのModbusプロトコルをサポートして、安全で信頼できるゲートウェイを提供し、エッジデバイスをSCADAシステムにブリッジします。MX-AOPC UAビューアはOPC UAクライアントであり、これによってユーザーは、タグ値およびサーバーのステータスを簡単に表示できます。MX-AOPC UAロガーは、データログを変換して中央データベースにアップロードする、もう一つの便利なクライアントです。MoxaのMX-AOPC UAスイートにより、ユーザーは、アラーム、リアルタイム更新を即座に受信し、履歴データを保存し、タイムリーなリスク防止と堅実なメンテナンス応答の両方を可能にすることができるようになりました。

OTとITシステムの間の安全なデータ接続の作成

従来、OTおよびITエンジニアが、現場でデータに使用される何千ものレジスタをポーリングするエージェントプログラムを作成するのは難しいことでした。この問題は、現場のデータはフィールドバスプロトコルを使用して処理されるけれども、データをITデータベースに書き込む必要があるという事実起因します。特に、生成される追加の負荷がレガシーデータ取得方法に依存するシステムに多大な負担をかける可能性があるため、設備をスケールアップする時期になると、この問題は非常に深刻なものになります。MX-AOPC UAスイートを使用することで、Modbusプロトコルを介して現場のレジスタからデータを収集することが可能になります。その後、SCADAシステムなどのOPC UAクライアントにデータを提供したり、MX-AOPC UAロガーを使用してITデータベースにデータを書き込んだりすることが可能になります。追加のプログラミング作業は一切必要ありません。もう1つの利点は、MX-AOPC UAスイートは暗号化および証明書交換のためのセキュリティポリシーオプションを用意しているため、データ接続と送信のセキュリティを確保できることです。



プッシュタイプ伝送による効率的なデータ取得（インターバルまたは例外メソッドによるレポート）

Moxaはオートメーション業界で「アクティブタイプ」OPCソフトウェアのコンセプトを開拓してきました。特許取得済みの当社製MX-AOPC UAサーバーは、標準のOPC UAプロトコルに加えて、ポーリングアーキテクチャと非ポーリングアーキテクチャの両方を提供し、Moxaのデバイスからプッシュベースの通信を使用する代替手段をユーザーに提供します。プッシュ技術を使用した場合、I/OステータスがMX-AOPC UAサーバーに合わせて更新されるのは、I/Oステータスが変更された場合、事前に構成された間隔に達した場合、またはユーザーがリクエストを発行した場合のみです。このプッシュ技術の適用により、メタデータのオーバーヘッドが削減され、従来のプルベースのアーキテクチャよりも高速なI/O応答時間とより正確なデータ収集が実現します。Moxaの「アクティブ技術」の利点により、ユーザーはアラームとリアルタイムの更新をすぐに受信できるようになり、タイムリーなリスク対応が可能になります。



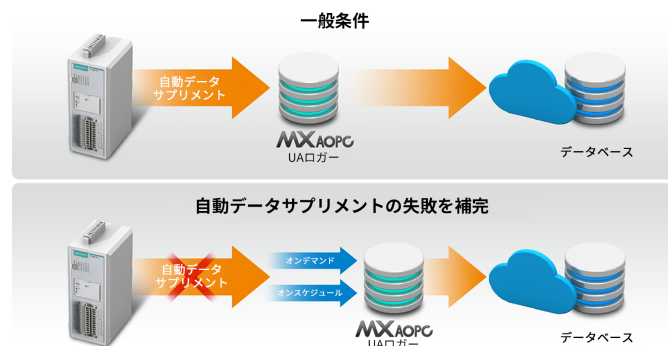
ネットワーク障害後の、SDカードからの自動データ補完

RTUを使用する利点の1つは、中央サイトからネットワークを介してデータを収集できることです。理想的な運用の場合、ネットワーク障害後、RTUは、ネットワークのオフライン時に収集されたデータログを伝送することができます。MoxaのMX-AOPC UAロガーはこの処理を可能にするだけでなく、簡単に行えるようにします。MX-AOPC UAロガーは、リアルタイムデータ収集のためにMX-AOPC UAサーバーと対話する標準OPCインターフェースを提供します。MX-AOPC UAロガーは、各ネットワーク接続後に、個々のデバイスにあるSDカードに保存されている履歴データを、ローカルに保存されているリアルタイムデータと比較し、欠落したデータをRTUに再送信するように要求することで、失ったデータを補完します。



自動データサブプリメントの補完としてのオンデマンドおよびオンスケジュールのデータサブプリメント

不安定なネットワーク状態またはデータベースへのアクセスの失敗により、自動データサブプリメントが失敗する可能性があります。これらの問題を回避するために、MX-AOPCロガーは「オンデマンド」および「オンスケジュール」のデータサブプリメントもサポートしています。「オンデマンドデータサブプリメント」では、ユーザーがいつでも手動でデータサブプリメントをトリガーできます。「オンスケジュールデータサブプリメント」では、MX-AOPCロガーがデータサブプリメントを毎日自動的に実行するための固定時刻を指定できます。



仕様

Ethernet Software Features

Industrial Protocols	MX-AOPC UA Server: Modbus TCP Client (Master), MX-AOPC UA Server: Moxa AOPC (Active Tag)
----------------------	--

Serial Software Features

Industrial Protocols	MX-AOPC UA Server: Modbus RTU Client (Master)
----------------------	---

OPC Specifications

OPC UA (Unified Architecture)	MX-AOPC UA Logger: 1.02 MX-AOPC UA Server: 1.01
OPC DA (Data Access)	MX-AOPC UA Server: 1.0a, 2.0, 2.05a, 3.0

Hardware Requirements

Communication Interface	Ethernet interface Serial interface
CPU	Intel Pentium 4 or above
RAM	512 MB (1024 MB recommended)

Software Requirements

Cloud (optional)	MX-AOPC UA Logger: Microsoft Azure
Database (optional)	MX-AOPC UA Logger: Microsoft SQL Server (x86) MX-AOPC UA Logger: MySQL (x86) MX-AOPC UA Logger: Oracle database (x86)
Editor (optional)	MX-AOPC UA Logger: Microsoft Office 2003 (Access or Excel) or later
Microsoft .NET Framework	v3.5 Service Pack 1
Operating System	Microsoft Windows 7/8/10 Microsoft Windows Server 2003/2008/2012

注文情報

Model Name	Device Connections	MX-AOPC UA Server Connections	Database Connections	Runtime Operation Days	Purchasing Registration Code	Registration Required at license.moxa.com
MX-AOPC UA Server	Unlimited	–	–	Unlimited	P	P

© Moxa Inc. All rights reserved. 2018年11月12日更新。

Moxa Inc.の明白な許可を written で取得しない限り、本書およびその一部の複製や使用はいかなる方法やいかなる場合でも許可されません。製品の仕様は予告なく変更されることがあります。最新の製品情報については当社のWebサイトをご覧ください。